

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局学務課	
施設名称	32 東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] 延床面積1,536.26㎡ SRC・RC一部S造 5階建のうち1階 乳児室、保育室、遊戯室、職員室、事務室、調理室、調乳室、保育士室
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月～土曜日（祝祭日・年末年始を除く）、午前7時15分～午後6時15分（延長保育は午後7時15分まで）
(6)	[人員体制] 62名 (内 訳) 園長(1) 副園長(1) 保育者(常勤27※うち産休5、非常勤9) 看護師(常勤2) 調理師・栄養士(常勤6※うち産休2、非常勤4※うち産休1) 事務(常勤2※産休1) 嘱託医(1) (前年増減) 保育者(常勤+2、非常勤-6) 栄養士(常勤+1、非常勤-2) 事務(常勤-1、非常勤-1)

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	253,900,000	253,873,048	249,880,000	249,320,047
	利用料金収入	1,942,000	1,725,210	1,915,000	1,919,166
	その他収入()	0	0	0	0
	計	255,842,000	255,598,258	251,795,000	251,239,213
支出	人件費	186,890,000	186,724,737	185,417,000	186,724,737
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	423,928	433,078	439,100	600,600
	修繕費	100,000	86,977	500,000	48,400
	事業費	20,391,000	20,291,150	29,102,500	28,587,156
	その他支出(事務費等)	26,093,072	25,786,742	35,762,900	34,703,182
	計	233,898,000	233,322,684	251,221,500	250,664,075
収支			22,275,574		575,138

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
定員	人	161	161	161	161
年間保育日数	日	296	294	293	293

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
入所児童数（4月1日現在）	人	161	157	149	150

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
第三者評価における利用者アンケートの回収率は令和2年度より改善された。第三者委員と苦情解決窓口の仕組みについては、保護者懇談会で資料を用いて説明を行い周知に努めたが、依然として保護者の認知度は低い。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画、報告書等の必要書類の作成・提出は遅滞なく行われ、区との連絡調整も適切に行われた。労働環境においても、雇用形態に応じ個別の就業規則を作成し、適宜更新していくなど、法令等を遵守し、適正な管理体制及び運営を維持している。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、適切に事業を実施し、SNSを通じて手作り玩具を配信するなど地域の子育支援にも寄与しているが、短時間保育の園児数が減少傾向にあることから、園の魅力を発信していく手段の一層の工夫が求められる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	定期的なリスクマネジメント会議を実施し、事故防止に向けてリスクを洗い出し、対策を行い、全職員に対して情報共有を徹底している。新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合は、消毒業者が迅速に対応する体制が整っている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	苦情窓口の周知に一部課題はあるが、第三者評価における利用者の満足度は非常に高く、質の高い教育・保育活動が安定して行われている。特に食育では、給食にテーマ食材や郷土食を取り入れ、食育に関する冊子を発行する等、積極的な取り組みが行われている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新事業開始のため支出は増加しているが、定期的な公認会計士の確認により、収支管理は適切かつ効率的に行われている。

(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	新型コロナウイルス感染防止の観点から園内への立ち入りを制限したため、園内の様子を把握しにくくなったが、日常の保育の様子をSNS(インスタグラム)を通じて日々配信する取り組みにより、保護者の不安解消に繋がった。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (103 / 110点)	<p>【所見】 新型コロナウイルス感染症により生じた新たな課題にも迅速に対応し、SNSを活用した子育て支援に取り組むなど、安定して質の高い教育・保育活動を実施している。利用者の満足度も非常に高いことから適正な管理運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 社会情勢、保護者ニーズの変化により、短時間保育の需要が減り、園児数が減少する傾向にある。質の高い教育・保育を実施し、利用者の評価も高いことから、地域への発信を大切にし、園の魅力を伝える工夫がより一層求められる。</p>